



JW

EPOMARINE

エポマリン

JW

水処理設備用エポキシ樹脂塗料

**配管、タンク内面など
耐水性が要求される箇所に適用できる**

飲料水等の上水設備(新設)にも適用できます。

冬期間の場合は、低温での乾燥性に優れた

エポマリンJW低温形をご使用ください。



日本水道協会
JWWA K-135承認品

日本水道協会JWWA K-135承認品は、
グレー・黒の18kgセットのみです。



水処理用エポキシ樹脂塗料

系 統

水処理用ポリアミドアミン硬化エポキシ樹脂系塗料(2液形)

塗料性状

項 目	内 容	
	エポマリンJW	エポマリンJW 低温形
1 荷姿	18kgセット、4kgセット ベース:15.75kg、3.5kg 硬化剤:2.25kg、0.5kg	18kgセット、4kgセット ベース:15.75kg、3.5kg 硬化剤:2.25kg、0.5kg
2 混合比(重量比)	ベース/硬化剤=7/1	ベース/硬化剤=7/1
3 色	各色(黄・オレンジ系, 赤系は除く)	各色(黄・オレンジ系は除く)
4 塗料密度(塗料比重)	1.30(白)	1.31(白)
5 溶剤密度(溶剤比重)	0.85	0.86
6 加熱残分	64%(白)	68%(白)
7 使用有機溶剤種別	ベース:第2種有機溶剤等 硬化剤:第2種有機溶剤等	ベース:第2種有機溶剤等 硬化剤:第2種有機溶剤等
8 消防法による危険物区分	ベース:第1石油類(非水溶性) 硬化剤:第1石油類(非水溶性)	ベース:第1石油類(非水溶性) 硬化剤:第1石油類(非水溶性)
9 硬化剤の成分による区分	変性ポリアミドアミン	イソシアネート
10 適用下塗塗料	SDジंक100・500	SDジंक100・500
11 適用上塗塗料	エポマリンJW	エポマリンJW 低温形
12 使用シンナー名	テクトEP JWシンナー	テクトEP JW低温用シンナー
13 希釈率(重量比)	エアレス:0~10% ハケ塗り:0~5%	エアレス:0~5% ハケ塗り:0~5%
14 塗分量と膜厚	エアレス:470g/㎡/回で100μm(Dry) ハケ塗り:230g/㎡/回で60μm(Dry)	エアレス:500g/㎡/回で100μm(Dry) ハケ塗り:240g/㎡/回で60μm(Dry)
15 塗装間隔	10℃:最短48時間、最長7日 20℃:最短16時間、最長7日 30℃:最短16時間、最長7日	5℃:最短24時間、最長7日 10℃:最短20時間、最長7日 20℃:最短16時間、最長7日
16 適用素材	鉄	鉄

注) JWWA K-135認証色はグレー・黒の18kgセットのみです。
注) その他は製品説明書を参照して下さい。

製品取扱上の注意事項(安全衛生他)

下記の注意事項を守ってください。
詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

■ 予 防 策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
本来の目的以外に使用しないこと。
指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■ 対 応

目に入った場合:直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合:直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
吸入した場合:空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■ 施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。